

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子

学校だより



高 松

令和7年5月1日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

五小の子どもたちの素晴らしい姿

校長 関口 保司

新緑の季節になりました。私はこの季節が大好きです。多くの花が咲き、山の木々は新芽が緑色に輝いています。そして爽やかな風が、とても心地よく感じられます。

子どもたちが入学・進級して約1ヶ月が経ちました。この1ヶ月の間に、子どもたちの素晴らしい姿をたくさん見ることができました。

1つ目は、入学式翌日の4月10日の出来事です。子どもたちが登校した後、靴箱を見た私は、とてもびっくりしました。1年生の子どもたちの靴が、かかとをそろえて、きちんと靴箱に入っているのです。もちろん1年生だけではあります。最高学年の6年生が、「学校ではこうやって靴をそろえるんだよ。」と丁寧に教えていたからこそできたのです。そして1年生が2階に向かった後、きっともう一度6年生が、靴を丁寧にそろえてくれたのでしょう。「学校では、こうするんだよ。」と教える6年生。そして「学校では、こうやるんだ。」と頑張る1年生。その姿を思い浮かべ、五小の子どもたちは、なんて素晴らしいのだと感動しました。さっそく14日(月)の全校朝会で、この時のことを全校の子どもたちに話しました。

2つ目は、21日(月)体育館での全校朝会での出来事です。全校朝会は8時30分のチャイムで始まります。1年生も含めて、全校の子どもたちが体育館に集合したのは8時28分。チャイムが鳴る前に、きちんと整列ができていました。子どもたちの「時を守る」姿勢に、とてもうれしくなりました。通常、体育館に集合するのは、出入り口の関係で少し時間がかかるものです。しかし体育館で全校朝会があるから少し早めに準備して、みんなに迷惑をかけないようにしようと心構えが感じられました。28日(月)は、初めての校庭での全校朝会でした。五小の校庭は西校舎建設の関係で、以前より少し狭くなり、南校舎に対して斜めにトラックのラインが引かれています。この斜めのトラックにそって並ぶことは、子どもたちにとってとても難しいのです。しかし先生方の準備もあり、時間も守ってきちんと並ぶことができました。

そして3つ目は挨拶です。令和4年度の学習発表会で、当時の6年生が立川市民科について調べ、自分たちにできることとして、「あいさつ運動」が始まりました。その後、五小の新しい伝統として子どもたちに引き継がれ、毎朝子どもたちがすすんで元気な挨拶を行っています。

しつけの三原則（1挨拶 2はいの返事 3履物をそろえる）や再建の三大原理（1時を守り 2場を浄め 3礼を正す）で知られる教育学者の森信三氏は、多くの著書で次のように述べています。「『履物をそろえる』とは、物事のしめくくりをきちんとしてるとともに、次の行動の準備に通じます。履物をそろえると、心もそろうのです。『時を守る』ということは、相手や周りの人を尊重することです。信用を積み重ねることができます。『挨拶』は、良好な人間関係を築くうえで、最も基本的な行動です。挨拶の『挨』はひらくという意味です。『拶』はせまるという意味があります。つまり自分の心を開いて、相手との距離を縮めていくことを表します。」

第五小学校の子どもたちは、「履物をそろえる」「時を守る」「挨拶」という基本的な生活習慣がしっかりとできています。これは大変素晴らしいことです。この素晴らしい基に、子どもたちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。今月も本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いします。